

導入・運用段階 スキル整理表	サブカテゴリー		スキル項目		経営・管理部門									事業部門							非製造業		
					戦略			管理						研究・開発	製造業						事業		
					経営・取締役会	経営企画	経理・財務	人事	法務・総務	広報・IR	リスクマネジメント・セキュリティ	情報システム	研究・開発	製品企画	購買・調達 生産管理	生産・製造	品質管理	物流・配送	営業・サービス	製造に関連するその他 部門(建設、インフラ管理)	営業事務 (購買・調達・経理)	企画営業・販売	サービス企画・提供
					スキル・具体例																		
想定される職務の変化	活用事例の理解 (運用・応用段階の目的)	自らの業務においてどんなDXが起きているか知っている・語れる	世界的な経済社会潮流、AIを活用した需要予測・マーケティング等の予測	財務情報のリアルタイム把握、BIツール(集計・可視化ツール)を活用した効率的な経営指標の把握、市場将来予測	AI-OCRやRPAを活用した伝票起票業務	タレントマネジメントシステムを活用した人事異動・求人媒体サービス(データ)の活用	電子契約書、契約書の自動レビュー・自動作成、知財管理・活用	ソーシャルメディア活用、自社サイトでのSEO(検索エンジン最適化)活用	AI等の活用によるサーバー等の脆弱性やサイバー攻撃への対応	データ統合基盤システム	MBDでの設計、メタバース、デジタルツイン空間での実証	AIを活用したマーケティング(顧客ニーズの適切な把握)	PDM(製品情報管理システム)やクラウド等による在庫管理	RPAや3Dプリンターによる自動生産	AI活用によるデジタルトランスフォーメーションの確保、人間では気づかない異常の発見	AIによる運送ルート・積載計画の最適化	メタバース空間でのパートナー、顧客との共創活動	ロボット・ドローン等を活用した自動での修繕・遠隔管理	AIによる需要予測、ダイナミックプライシング	営業接客ツールを用いた遠隔営業、ソフトを用いた営業予約と情報共有 チャットbotやSNSを用いた販促、顧客情報解析	対人(介護・接客)ロボットの活用、各種サービスを補助するアプリの活用(観光ルートやスポット推薦)等により、新しいターゲットや価値を生み出す		
具体的なデータやツール	データ	自らの業務におけるDX化が必要なデータがわかる、必要なデータを想起しアクセスできる	財務情報、競合他社等の財務情報他	財務情報	経費伝票情報	従業員の職歴や知識・スキル、資格情報	契約書情報、知財情報	公式サイト閲覧情報	サーバ等へのアクセスデータ、ヒヤリハット情報	システムアクセス情報	研究開発データ(実証、試作結果など)	製品データ(スペック情報)	原材料調達情報、製品ニーズデータ	製造データ(個数・所要時間など)	品質データ、検査履歴(不良品割合など)	車両スペック、荷物データ、走行履歴	取引相手の連絡先(名刺データ)	製造設備等インフラ点検履歴	RFID、POSデータ	顧客属性や購入履歴	介護者の離床時間、観光ルート履歴、サービス利用履歴		
	ツール利用	右ツールの利用方法を理解し、状況に合わせて適切なツールを選択・利用できる 生成系AIなど、新しいツールや技術について随時情報を収集し必要に応じて活用できる	需要予測ソフト等	会計ツール(freee/弥生等)	タレントマネジメントシステム、採用管理ツール	リーガルテック	CMS(コンテンツ管理システム)、ソーシャルメディア	リスクマネジメントツール、将来予測システム(リスク予兆)	データ統合基盤システム	各種設計ソフト(MBD、3D CADなど)、研究開発データ・製品データ管理ソフト(クラウド等)	需要予測・生産管理ソフト等						サービス・アプリ	3次元設計モデル(BIM/CIM)	需要予測ソフト等	営業管理ソフト、SNS(LINE/Twitter/Instagram等)	サービス・アプリ		
一般従業員	求める人材像		社内外のデータを用いたリサーチを実施し事業計画等を策定することができる	経理・財務に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	人事に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	法務・総務に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	広報等に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	リスク等に関するソフトウェアの知識を用いて自らの業務を遂行できる	情報システムに関する知識を用いて自らの業務を遂行できる	研究・開発に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	製品企画に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	購買・調達・生産管理に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	生産・製造に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	品質管理に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	物流・配送に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	営業・サービスに関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	関連するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	営業事務に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	企画営業・販売に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる	サービスに関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる			
	データ解析・AI	データを読む・説明する、データを扱う、データによって診断する。 また、そのためにAIを活用できる。		データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる 数十件程度のデータからグラフを作成できる データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している 目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる																			
	クラウド	クラウドの仕組みを理解し、クラウドができること・できないこと、活用可能性を知っている		クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる					社内にてクラウドに関する相談にのることができる	クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる													
	ハードウェア	コンピューターやタブレット、スマートフォン及び関連デバイスを活用できる。		サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる タブレットを用いた簡単な操作(動画の再生、ブラウザの利用等)ができる					社内にてハードウェアに関する相談にのることができる	サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる タブレットを用いた簡単な操作(動画の再生、ブラウザの利用等)ができる													
	ソフトウェア	各種ソフトウェアや社内システムの仕組みを理解し、使い方を知っている		新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる					社内にてソフトウェアに関する相談にのることができる	自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる										新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる			
	ネットワーク	ネットワークやインターネットの仕組みを理解し、使い方を知っている		WiFi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる					社内にてネットワークに関する相談にのることができる	WiFi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる													
	セキュリティ	セキュリティ技術の仕組みと個人がとるべき対策を理解し、安心してデータやデジタル技術を利用できる		メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し(e-learning等で着実に理解)、日々の業務で確実に実践できる データ、AI、機械学習の意図的な悪用(フェイクニュース、Botの悪用など)があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけている					社内にてセキュリティに関する相談に乗ることができる	社内にてセキュリティに関する相談にのることができる	メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し(e-learning等で着実に理解)、日々の業務で確実に実践できる データ、AI、機械学習の意図的な悪用(フェイクニュース、Botの悪用など)があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけている												
	モラル	デジタル時代で求められるモラルを持ち、適切にインターネット上のコミュニケーションやデータ活用ができる		人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる 捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる					社内にてモラルに関する相談に乗ることができる	人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる 捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる													
	コンプライアンス	業務でデータや技術を利用するときに、自身の業務が法規制に照らして問題ないか確認できる		プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる					社内にてコンプライアンスに関する相談に乗ることができる	プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる													

求める人材像		経営・取締役会としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	経営企画としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	経理・財務としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	人事としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	法務・総務としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	広報・IRとしてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	リスクマネジメント・セキュリティとしてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	情報システムとしてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	研究・開発としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	製品企画としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	購買・調達生産管理としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	生産・製造としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	品質管理としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	物流・配送としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	営業・サービスとしてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	その他部門としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	営業事務(購買・調達・経理)としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	企画営業・販売としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる	サービス企画・提供としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる							
データ解析・AI	データを読む・説明する、データを扱う、データによって診断する。 また、そのためにAIを活用できる。	データを集計し10枚程度の集計レポートを作成できる 集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる 自らの業務に近い領域においてAIの活用可能性(どのようなサービスに使われているか)を知り、適切に活用されているか判断できる																									
クラウド	クラウドの仕組みを理解し、クラウドができること・できないこと、活用可能性を知っている	クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる							社内にてクラウドの技術面について全社的な検討・相談をすることができる	クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる																	
ハードウェア	コンピューターやタブレット、スマートフォン及び関連デバイスを活用できる。	サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる タブレットを用いた簡単な操作(動画の再生、ブラウザの利用等)ができ、適切な活用方法について指示を出せる							社内にてハードウェアの技術面について全社的な検討・相談をすることができる	サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる タブレットを用いた簡単な操作(動画の再生、ブラウザの利用等)ができ、適切な活用方法について指示を出せる																	
ソフトウェア	各種ソフトウェアや社内システムの仕組みを理解し、使い方を知っている	新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる							社内にてソフトウェアの技術面について全社的な検討・相談をすることができる	自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる																	新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる
ネットワーク	ネットワークやインターネットの仕組みを理解し、使い方を知っている	WiFi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる							社内にてネットワークの技術面について全社的な検討・相談をすることができる	WiFi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる																	
セキュリティ	セキュリティ技術の仕組みと個人がとるべき対策を理解し、安心してデータやデジタル技術を利用できる	メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し(e-learning等で着実に理解)、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる データ、AI、機械学習の意図的な悪用(フェイクニュース、Botの悪用など)があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへ対応できる				社内にてセキュリティの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる			社内にてセキュリティの技術面について全社的な検討・相談をすることができる	メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し(e-learning等で着実に理解)、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる データ、AI、機械学習の意図的な悪用(フェイクニュース、Botの悪用など)があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへ対応できる																	
モラル	デジタル時代で求められるモラルを持ち、適切にインターネット上のコミュニケーションやデータ活用ができる	インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる 捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる							社内にてモラルの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる	インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる 捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる																	
コンプライアンス	業務でデータや技術を利用するときに、自身の業務が法規制に照らして問題ないか確認できる	プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる							社内にてコンプライアンスの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる	プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる																	
その他	DX推進人材としての役割の一部を担うことができる	リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他者を巻き込み部署や全社でDXを推進するための役割を担うことができる (詳細はDX推進人材等に求めるスキル参照)																									